

指月アワー

「成道会」講演会

ともに生きる

～善人・悪人～

日時： 2007年 12月5日(水) 13:00～14:30

場所： 弘誓館 G101

講師： 梶田真章(かじた しんしょう)氏



法然院第31代貫主(かんす)。1956年京都市生まれ。1985年、「法然院森の教室」を始める。1993年、境内に「共生堂[法然院森のセンター]」を新築、この建物を拠点に環境学習活動を行う市民グループと協働。寺は、人々の信仰、学び、安らぎ、出会いの場として生かしてゆくべきである。」との願いを持ち、念佛会、法話のみならず、コンサート、個展、シンポジウムの会場としても寺を開放するなど、現代における寺と佛教者の可能性を追求している。現在、京都市景観・まちづくりセンター評議員、京都芸術センター運営委員、きょうとNPOセンター副理事長。著書は「ありのまま～ていねいに暮らす、楽に生きる～」(リトルモア)、「法然院」(淡交社)他

「成道会(じょうどうえ)」

釈尊「悟り」を開き仏陀(覚者)となった日(12月8日)

王子として生まれ、なに不自由のない生活を送っていた釈尊が、ある日、人の世が老・病・死をはじめとした「苦」に満ちていることに気づき、全てを捨てて29歳の時に出家。その後、肉体を痛めつける苦行を行うことで苦からの脱出の道を求められたが、苦行では苦の問題を解決することはできないとついに気付く。そして、大きな菩提樹(ぼだいじゅ)の下での長い瞑想(めいそう)を経て、「真理」に目覚められ、仏陀(覚者)となられた。「成道会」は、この悟りを祝って行われる法要である。

問合先： 0774 - 25 - 2400 (担当:村山迄)

申込み不要、入場無料、マイカー不可

主催：宗教委員会